

【実務家のための産業保健のサイト】 (<https://osh-management.com/>)

表 1 : ECETOC TRA の物理化学的特性等に関する入力項目

表示	日本語訳	入力内容	入力カラム	備考
SUBSTANCE	対象物質名		D30	製品名で可
CAS No.	Cas 番号		D32	任意入力
Molecular Weight	分子量		D39	
Vapour pressure (Pa or hPa)	蒸気圧		D40・E40	単位の入力に注意
Water solbility	水溶解度		D41	
Partition coefficient octanol-water	オクタノール/水分配係数		D42・E42	
Biodegradability test result	好氣的生分解性		D43	プルダウン選択入力 未入力でも動作する
Reference value long-term inhalation - wokers	職業暴露限界		H76	許容濃度又は TLV-TWA で可。
【参考】 沸点				

※ 「好氣的生分解性」以外は、SDSに記載されていることが多い。SDSの「3. 組成及び成分情報」及び「9. 物理的及び化学的性質」を参照する。

「好氣的生分解性」は、環境影響に影響を与えるパラメタで化審法関連の資料に記載されていることがある。いずれにせよ、職業暴露とは関連が低く、入力する必要性には乏しい。

【実務家のための産業保健のサイト】 (<https://osh-management.com/>)

表 2 : ECETOC TRA による職業ばく露評価のための入力項目

※ 入力はすべてプルダウン選択方式

	入力内容			入力カラム (55~69)	備考
	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③		
シナリオ名				B	任意入力
プロセス カテゴリー ／別表を参照し て入力する				D	別途作成され た表を利用し て選択する。
作業形態				E	専属か否か
固体か				F	
発塵性又は作業 温度における蒸 気の揮発性(Pa)				G	
作業時間 (時／日)				H	
換気の状態				I	

呼吸用保護具の有無と、効率				J	
製品中の対象物質含有量				K	
手袋の使用				L	
【参考】 使用量					

※ なお、参考までに蒸気の揮発性を求める方法を示しておく。作業温度が常温ではない場合、蒸気圧は、温度（絶対温度）と蒸気圧の比例計算より求める。【例】150℃で取り扱う場合の計算は、以下のとおり（20℃の蒸気圧は 1 Pa と仮定）となる。

$$\begin{aligned}
 150^{\circ}\text{Cの蒸気圧} &= 20^{\circ}\text{Cの蒸気圧 (Pa)} \times (150^{\circ}\text{Cの絶対温度} / 20^{\circ}\text{Cの絶対温度}) \\
 &= 1 \times (150+273) / (20+273) \\
 &= 1.44 \text{ Pa}
 \end{aligned}$$